

(1) 班分け

班	学生番号	氏名	班	学生番号	氏名	班	学生番号	氏名
1			4			7		
2			5			8		
3			6					

(2) コロナウィルス感染症拡大予防

- ・実習室に入室する度に消毒液で消毒せよ。
- ・会話は必要最小限にとどめよ。

(3) 実習項目およびスケジュール (ただし、オンライン授業に移行する場合は変更となることがある。)

1 週目

1. テキスト10～10.6を熟読し、練習問題1～5の解答をTAに示せ。
2. テキスト9.1.1の1～3を行い、その結果をTAに示せ。作成したプログラム、実行結果、考察および課題の解答を報告書にまとめよ。プログラムには必要に応じてコメントをつけること。
3. まだ予習していない場合は、2週目までにテキスト4～5.3を熟読してくること。

2 週目

1. テキスト9.1.2の1～5を行い、その結果をTAに示せ。結果と考察を報告書にまとめよ。
2. まだ予習していない場合は、3週目までにテキスト6～8.2を熟読してくること。

3 週目

1. テキスト9.2の1～3を行い、その結果をTAに示せ。結果と考察を報告書にまとめよ。
2. テキスト9.2の4.をできるところまで行え。
3. まだ予習していない場合は、4週目までにテキスト11を熟読してくること。

4 週目

1. テキスト9.2の4.,5.を行い、その結果をTAに示せ。結果、考察および課題の解答を報告書にまとめよ。
2. テキスト9.2の6.を行え。倒立振り子装置は奇数班は廊下側、偶数班は窓側のものを使うこと。結果と考察を報告書にまとめよ。

5 週目

1. テキスト9.2の5.,6.を、優れた性能を有するコントローラが設計できるまで繰り返せ。結果と考察を報告書にまとめよ。
2. プレゼンテーション

(4) 報告書

テキスト9.1、9.2ごとに1つの報告書を作成する(計2つ)。各報告書は修正・追加しながら毎週提出して最後に完成された報告書を提出する。以下の点に注意して作成せよ。

- ・表紙はシステム・制御用のものを、Moodleのプロジェクト実習IIシステム・制御からダウンロードして用いよ。
- ・テキストの理論および方法をそのまま書く必要はない。必要最小限あるいは省略してもよい。
- ・グラフを示すときは各軸の説明と単位を明記すること。また、グラフの概形を正しく確認できるように各軸のスケール(最大値と最小値)を調節すること。
- ・テキストにある内容以外のことについても考察する。

報告書はPDFファイルでMoodleに提出せよ。報告書に対する教員の所見はMoodleのフィードバックコメントに書き込まれるので、その所見に従って報告書を次週までに修正せよ。このとき、報告書の表紙に教員の所見を写すとともに、その所見に対する回答と報告書内での修正箇所を明記せよ。

(5) 担当教員 飯間 等、7号館304室、iima@kit.ac.jp